

中学受験を振り返って

井上 侑里・母

受験校 浦和明の星女子（合格）・市川学園中学校（合格）・東邦大付属東邦中学校（合格）
渋谷教育学園幕張中学校（不合格）・桜蔭（合格）・豊島岡女子学園中学校（合格・進学）

娘は小学3年9月から塾に通い始めました。それまでは小学1年から公文で国語・算数・英語を習っていました。公文の算数の教材が中学生レベルになるというところでやめて、近くの四谷大塚提携塾に通うようになりました。公文では、算数は学年を超えて学習できるのが楽しかったようで、自分で考えて解くという習慣がそこで身に付いたかなと思います。英語はCDを聞きながら楽しそうにやっていました。最終的に英検5級をとって終わりでした。国語はどうだったのか記憶にないです。ただ、読書は大好きでした。（青い鳥文庫など）習い事は、幼稚園の年中からピアノと水泳をやっていましたが、水泳は4年生の冬に辞めて、ピアノは6年生の4月に辞めました。通っていた塾は、4年生は週3日、5年生は週4日、6年生は週5日で、時間も長かったので大変でした。特に6年生の夏期講習中はお弁当をお昼と夜で2回作っていました。朝8時から夜9時半まで塾でした。

塾を選ぶ時に、うちの場合は小学校から帰宅するのが4時半位でしたので、それから電車に乗って通塾は無理だと思い、近くの塾にしました。アットホームな塾で先生と生徒の距離が近く、質問がしやすい塾でした。4年生の時は四谷大塚の月例テストを受けて、5年生からYTを取って週例テストを受けるようになりました。はじめはS2組からのスタートで、その後S1になることもあれば、C1に2回落ちたこともありました。一番成績が安定していたのは算数・理科で、偏差値65は切りませんでした。問題は国語でした。とにかく記述が書けないのです。テストの記述の部分は、毎回空欄でした。5年生の春の四谷大塚の学力判定テストを受けて、あまりの国語の成績の悪さに、このままにしておくのはまずいと思い、塾の先生に相談しましたが対策は取ってもらえませんでした。その時、書店で南雲先生の本と出会い家で読んでみると、とても感銘を受けて涙がでてきました。受験の本で泣ける本は初めてで、すごく共感できて何度も読み返しました。

先生が新たに国語の教室を開くと知り、お願いしてみようと思いました。5年生の夏からお世話になることになりました。はじめて先生のところで授業を受けた日に、帰りみち娘が「楽しかった！」と言ったのです。それまで100分間の授業を受けることがなかったので、大丈夫かなと心配しましたが、娘いわく100分が短く感じたそうです。

そして、先生の所に通って1ヶ月後に四谷大塚の学力判定テストがありました。まだ1ヵ月ですし、あまり期待をしていませんでしたが、なんと苦手な国語の記述が書けるようになっていたのです。春の学判の国語は偏差値56でしたが、夏休み明けの学判は偏差値65でした。正直驚きました。国語の成績が上がったことで、順位も4教科で女子で10番代になっていました。その後の冬の学判も国語の偏差値は偏差値67でした。そして週例テストでも、記述は必ず埋めてくるようになり、空欄はなくなりました。それだけでなく、その記述に○がもらえているのです。いつの間にか娘は、国語の苦手意識がなくなり、書くことが楽しくなっていたようです。南雲先生の所に通って本当によかったと思いました。指導者が変わるとこんなに変わるのかと痛感

しました。

6年生になって過去問を解き始めると、豊島岡女子の国語が思うように点数がとれませんでした。逆に桜蔭の国語の記述の方が点数がとれていました。南雲先生の授業は6年生の夏で終わっていましたが、過去問の個人指導を12月下旬に2年分お願いしました。もう入試直前ですが、娘が先生に教えてもらいたいと言うので伺いました。そこで、最後に先生が娘におっしゃった「答えは文中にあります。選択肢を読む前に傍線部にもどり前後を読み返しましょう。」は、娘が入試の間ずっと意識して解いていたようです。

おかげで、娘は念願の第一志望の豊島岡女子学園中学校に合格することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。授業の後に課題のプリントを見て頂いたり、他教科のお勧めの問題集を教えて頂いて本当に助かりました。国語の成績をここまで引き上げていただけなかったら、合格はなかったと思います。

南雲先生のところに親子で通った1年間はとてもいい思い出です。水道橋の駅まで、普段出来ないおしゃべりをして帰ったり、時にはご飯を食べて帰ったり、受験勉強の大変な時期の息抜きにもなりました。

また、娘が授業中は他のお母さんとお茶をして、情報交換ができてとても楽しかったです。

本当に有難うございました。